

令和2年度 東北ブロック事業報告

1. 活動テーマ

地域に責任を持った活動の強化

2. 目的

キャリアレベルに応じた効果的な人材育成や専門性の高い公衆衛生活動の強化を図るための工夫等、情報交換を行う。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	令和2年11月9日 (発送日)	書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支部長会議（1） <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北ブロック各県支部における活動状況について（各県支部に事前照会） ・ 全国保健師長会活動報告 ・ 災害時保健活動特別委員会作成資料の提供 ・ 各支部の活動計画と活動の課題等意見交換
2	令和3年2月12日	メール送付	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支部長会議（2） <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部長会議（1）で寄せられた問いに対する各県支部からの回答の還元 <p>情報交換内容</p> <p>入会促進のための工夫、継続のための配慮や工夫、コロナ禍において研修会を安全に開催するための工夫、支部ホームページの開設やZOOMなどを活用した研修や会議の開催、県人材育成の検討の場をどのように持っているか、保健師活動評価指標の活用や今後の方向性・必要性など検討されているか 等</p>
3	令和3年3月25日	書面研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東北ブロック研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師作成資料の提供 <p>テーマ</p> <p>「地域に責任を持った活動の強化 ～保健師の原点から住民とともに創る未来」</p> <p>講師</p> <p>東邦大学看護学部／大学院看護学研究科 岸 恵美子氏</p>

4. 結果・課題

支部長会議

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため県を超えた参集会議を中止してメールによる資料提供・情報交換を行った。参集会議には及ばないが、各県支部活動や課題について情報交換できた。
- ・ コロナ禍において研修会を安全に開催するための工夫については、参加申し込みが予想を大きく上回っていたにもかかわらず、クラスター発生の兆しを受けて急遽中止したことや年度当初から研修会を行わないことにしたことなどが報告された。
- ・ オンラインの活用については、既に実施している支部もあったが、保健師長会活動の中では活用できていない支部が多かった。今後の課題である。
- ・ 人材育成や保健師活動の評価指標の活用については、所属単位で実施しているが、県全体での取組には至っていない。研修会や職場単位での周知や意識して活用を進めていくことが必要と感じているが、コロナ禍で難しい等の回答があった。

研修会

- ・ 年度末に書面研修とした。
- ・ 講師から「国民の生命を守るとともに、患者や家族の人権を尊重し、地域から孤立しないように支援するとともに、誰も取り残されない地域を育てる。」それが保健師に期待されているのだと、今後の活動に向けて力強いエールをいただいた。

5. 支部活動の特徴

東北ブロックは、エリアが広範囲であるため、例年、支部長会議とブロック研修会を同日開催しているが、今年度はメールでの情報交換で終了した。

6. 委員・支部長

○理事	鈴木 明美	秋田県秋田地域振興局福祉環境部
理事	北澤 真美	上山市健康推進課
青森県	飯田 貴子	野辺地町健康づくり課
岩手県	菊池 浩子	岩手県県央保健所
宮城県	小林 浩子	仙台市青葉区保健福祉センター
秋田県	高橋 香苗	秋田県健康福祉部保健・疾病対策課
山形県	伊藤 京子	山形県置賜保健所
福島県	藁谷 曜子	いわき市勿来・田人地区保健福祉センター